

令和5年6月 川口市議会定例会

# 市長の所信と報告

川 口 市

本日、6月市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、公私にわたり大変ご多用の中、ご健勝にてご参集を賜り、厚く御礼を申し上げます。

提案理由の説明に先立ちまして、お許しをいただき、所信と市政に関する報告を申し述べたいと存じます。

はじめに、この度の台風第2号と梅雨前線の影響による全国各地での記録的な大雨により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

私は、この台風の発生を受け、気象状況を見極めながら、早め早めの対応を各担当部局に指示し、大雨警報発令後は直ちに、避難所の開設や高齢者等の避難指示の発令をするなど、迅速な対応を行ったところであります。

今回の大雨は、市内6カ所の観測地点で最大累計雨量が362ミリを観測し、前回、甚大な被害をもたらした令和元年の台風第19号の1.2倍以上の雨量でありましたが、現時点の市内の被害状況につきましては、幸いにも、人命に関わるような大規模な被害はなく、建物被害が床上浸水8件、床下浸水14件であり、台風第19号での被害は、床上浸水91件、床下浸水54件となっており、比較いたしますと、雨量が増えたにもかかわらず、被害件数を低減させることができました。

被害を抑えることができたのは、これまで、いつ起こるか分からない水災害に備え、国・県による荒川、芝川での調節池の整備に併せて、江川や貝塚落等に調節池を整備するとともに、学校の校庭や、公園の地下を利用した雨水貯留施設や貯留管の整備など様々な治水対策を積極的に実施してきた成果であると、私は、実感しているところであります。

しかしながら、近年は、地球温暖化による異常気象の影響等により、今まで以上の集中豪雨や台風等も予測されますので、今後も引き続き、市民の皆さんの安全・安心の確保を第一に考え、様々な治水対策に全力で取り組んで参りたいと存じます。

さて、私は、これまで「川口の元気づくり」のため、子育て・保育環境の充実、保健所の感染対策の強化、市内経済の活性化、防災・防犯対策、さらには再開発事業・都市基盤整備など、様々な事業をスピード感を持って推進して参りました。

また、市民の憩いの場であるグリーンセンターの再整備や、浸水被害の多い地区への雨水貯留施設や鳩ヶ谷地区に防災公園を整備したほか、様々な手法による区画整理事業の推進など、特性を活かしたまちづくり施策を市内全域で展開してきたところであります。

こうした取り組みが奏功し、川口市が広く認知され、住みやすいまちとして大きく評価され、昨年の「建売住宅の着工数」では首都圏の中で1位となり、「本当に住みやすい街大賞」をはじめとする数々の街選びランキングで高順位を獲得いたしました。

さらには、本年3月に発表された県内公示地価においても、上昇率上位10地点のうち本市が8地点を占め、そのほとんどが駅周辺だけでなく市内全域に点在しております。このことは、各地域の多様な魅力が総合的な評価につながり、実際に生活する拠点として、この川口市が選ばれているものと確信しているところであります。

今後も、本市が「選ばれるまち」を超えて、いつまでも住み続けたい「さらなる選ばれるまち」として、成長し続けられるよう、これまでの様々な施策の一層

の充実を図るとともに、新庁舎２期棟の建設やリリアの大規模改修と美術館の建設、神根運動場周辺の整備など、新たなまちづくり施策についても積極的に取り組んで参りますので、議員の皆様におかれましては、格段のご指導、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、市政に関しまして、数点ご報告を申し上げます。

第１点は、新庁舎２期棟建設工事についてであります。

去る３月１９日に工事の安全を祈願する起工式が行われ、建物工事に着手し、現在、基礎工事に先立ち、液状化対策などの地盤改良を行っているところであります。

２期棟は、第一本庁舎同様、水害を考慮した配置や地震に強い免震構造を採用するほか、非常用電源の確保と災害時には第一本庁舎への電力供給を可能とするなど、災害に強い庁舎にするとともに、これまで複数の庁舎に分散されていた市民窓口を集約し、お子さん連れの方にも安心して来庁いただけるよう託児室を設置するなど、市民の皆さんに利便性の高い庁舎に整備して参ります。

工事現場の仮囲いには、市内の小中学校、幼稚園の子どもたちが描いた絵画を展示しており、色彩豊かに学校生活最後の運動会の様子を描いた絵や、広い宇宙に発想を膨らませた絵など、想像力あふれる素晴らしい作品が、工事現場の景観を明るくし、道行く市民の皆さんの目を楽しませているところであります。

市長就任以来、取り組んできた３大プロジェクトでありましたが、いよいよ最後の工事に着手できたことは大変感慨深いものがあり、今後も引き続き、工事の

安全対策に万全を期しながら、令和7年6月の完成に向け、鋭意取り組んで参ります。

第2点は、原油価格・物価高騰に対する支援についてであります。

昨年度は、長引くコロナ禍や、ウクライナ情勢、円安の進行等により、燃料費、光熱費、食糧費や原材料費など様々な価格が高騰し、生活者や事業者に多大な影響を及ぼしていたことから、国の交付金等を活用し、市独自の緊急経済対策を実施いたしました。

今年度におきましても、依然としてこうした状況が続いており、市内事業者の経営環境に影響を与えております。中でも、介護・障害者・保育施設などの運営については、報酬単価等を国が定めており、価格に転嫁することができず、経営が厳しいとの声をいただいているところであります。

今月からは、電気料金の大幅な再値上げもあり、未だ先行きが不確実な状況でありますので、私は、各施設等に一日でも早い支援を行うため、昨年度に引き続き、これらの支援を実施することといたしました。今後も、国や県の動向を注視するとともに、適時適切な支援策を講じて参りたいと存じます。

第3点は、キャッシュレス決済によるポイント還元事業についてであります。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類へ移行し、景気回復の傾向がある一方で、長引く物価高騰により市内経済は少なからず影響を受けており、飲食、サービス等の事業者も厳しい経営環境が続いております。

私は、これまで、コロナ禍の休業要請に応じた事業者への協力金や、店舗における感染対策工事等に対する補助制度の拡充など、様々な経済対策を実施して参

りました。一方、市内事業者におきましても、皆さんに安心して利用いただけるよう、タブレットによるオーダーや、キャッシュレス決済の導入など非対面・非接触を可能とするDXの推進を図るなど、事業継続に努力されてきたところであります。

こうした中、川口商工会議所、鳩ヶ谷商工会、川口市商店街連合会から、市内事業者の売り上げ向上を目的としたキャッシュレス決済によるポイント還元事業の実施について要望をいただきました。

私は、このキャッシュレス決済は、消費者と事業者の双方の利便性と効率化が図られ、また、ポイント還元は市民の皆さんの消費意欲を喚起し、現在の景気回復を後押しし、更なる経済効果が期待できますことから、この事業の実施を決断し、今議会に、関連の補正予算案を提出いたしましたところであります。

なお、キャッシュレス決済の利用に不慣れな方にも利用いただけるよう、市内公共施設において説明会を開催するなど丁寧な対応に努めて参ります。

今後も引き続き、市内経済団体と協力し、市内消費拡大に積極的に取り組んで参る所存であります。

さて、今回提案いたしました議案は、予算議案1件、条例等の一般議案27件であります。

予算議案につきましては、一般会計において、物価高騰対策事業等に係る21億6,036万3千円の補正をお願いするものであります。

次に、一般議案であります、「川口市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例」など、条例議案7件、契約議案4件、財産の交換議案1件、財産の無償貸付議案1件、財産の取得議案4件、公の施設の指定管理者の指定議

案4件、市道路線の認定及び廃止議案3件、人事議案3件であります。

それぞれの議案内容につきましては、この後、副市長から説明を申し上げますので、慎重にご審議を賜り、ご可決下さいますようお願いを申し上げます。